

令和元年度

R 2 . 3 . 1 0

校長室だより

保護者の皆様へ 第49号

佐野市立葛生中学校長

増田 博



祝 卒業

3月9日（月）、3年生の卒業証書授与式が行われました。新型コロナウイルス対策により、来賓の方や在校生がいない中でしたが、無事3年生たちを送り出すことができました。3年生たちへは次のような式辞を送りました。

『安蘇の山並みからの柔らかな風に春の気配を感じるこの佳き日に、卒業される30名の皆さん、卒業おめでとうございます。（略）』

今後の更なる皆さんの活躍に向けて、次の三つの言葉を贈ります。

一つ目は、「深く考える」ということです。情報化やグローバル化といった影響で、皆さんが社会で活躍する頃には今の職業の半分がなくなってしまうといわれています。他人の真似や流行といったものに流されるのではなく、深く考え、自分の羅針盤が示す方向に向かって、自信を持って歩んでほしいと思います。

二つ目は、「人に優しくする」ということです。今から9年前の3月11日、あの東日本大震災が起こりました。その後も昨年10月の台風19号を含め多くの災害がありましたね。多くの方が犠牲になり、復興も未だ途上です。その中で皆さんは多くの人々が助けあう場面を見たり、聞いたりしたことと思います。皆さんには、震災を経験した人ならではの生き方を心懸けてほしいと思います。

三つ目は、「挑戦する」ということです。挑戦したり、何かを変えていく時には、必ず困難なことに会ったり失敗したりすることがあります。そんなとき、前向きな明るい気持ちで立ち向かって下さい。でも、もし皆さんがどうしても負けそうになったら、共に学んできた仲間や、いろいろと指導してくれた先生を思い出して下さい。そして、みなさんのことを一番に考え、いつも見守ってくださっている家族を思い浮かべて下さい。うまくいかない時や苦しい時にこそ、葛生中の卒業生である皆さんはきっと、互いに助け合い、知恵を出し合って、乗り越えてくれると私は確信しています。

それでは、皆さんが夢の実現に向かって大きく羽ばたくことを期待するとともに、これから先の未来が皆さんにとって輝かしいものになることを祈念し、式辞といたします。』